



平成 28年 2月 1日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
代表者名 代表取締役社長 児玉 正蔵
(コード番号 6112 東証第2部)
問 合 せ 先 取締役執行役員経理部長 田中 教司
(TEL 027-343-1511)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社の株式につきましては、平成28年1月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円未満となりましたので、今後の当社事業に関する見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成28年1月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円未満となりました。

東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文では、9ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては、3ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上にならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

(ご参考)

(1) 当社株式の平成28年1月の月間平均時価総額 992,472,669 円

(2) 当社株式の平成28年1月29日現在の時価総額 993,529,053 円

(1月29日終値99円×1月29日上場株式数 10,035,647株)

2. 今後の見通しについて

当社の現状は、第115期(平成27年11月期)通期決算においては、売上面では、受注の消化が順調に進み、前期比40.5%増となる、売上が計上できました。利益面におきましても、良質物件の売上増加や生産管理の徹底による生産コストの削減成果があり、経常損失段階で前期114期(4億25百万円)から当期18百万円に大きく改善いたしました。また、特別利益(固定資産売却益2億32百万円)の発生により特別配当を予定しております。

今後の見通しにつきましては、引き続き黒字定着に向け全社一丸となって取組んいきます。

最優先課題としている受注展開において、現在、以前から継続交渉中であつた大型案件の成約を始め、引き続き新たな引き合い先と交渉中であり、この成約に向け全力で取組んでおり、徹底した経費見直しを継続し、安定した黒字体質を実現することにより、今後とも引き続き東京証券取引所における上場を維持するよう最大限に注力してまいります。

また、今後3ヶ月以内に東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出し、開示する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には大変ご心配をおかけしておりますが、今後とも格別のご理解と、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上